

2025年4月22日

住友理工、働きがい溢れる職場づくりに向けて松阪事業所を刷新 ～新事務棟を42年ぶりに建設し、職場環境を改善～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、4月21日（月）、松阪事業所（三重県松阪市）にて、新事務棟の起工式を実施いたしました。本事務棟の建設により、経営ビジョン「2029年 住友理工グループ Vision（2029V）」の実現に向け、従業員の働きがいのある職場環境の実現を目指します。



起工式の様子



記念撮影

当社は、1929年に三重県四日市市で創業し、1943年には松阪工場（現：松阪事業所）の操業を開始しました。約80年間の歴史の中で、事業の進化に合わせて事業所内の設備も最適化し、高品質な製品を提供できるよう機能してきました。しかし、コロナ禍を経て、テレワークやWeb会議が浸透した現在、円滑なコミュニケーションや生産性向上が実現できる環境が求められています。

このたび、松阪事業所の課題を解決する一環として「エンゲージメント」「多様性」をコンセプトに、従業員が一層働きやすく、働きがいを感じる職場環境を整えるため、新事務棟を建設することを決定しました。現事務棟を1983年に建設して以降、42年ぶりに事務棟を刷新します。住友理工グループの自動車用ホース生産拠点の中核として、成長と進化を遂げ、社会の変化に適応していくために、松阪事業所全体の見直し・再配置を行っていきます。また、職場環境の改善だけでなく、事業所内の安全性のさらなる向上も目指します。

■ 松阪事業所新事務棟について



新事務棟イメージ

・ 1 階：リフレッシュできる空間・環境

松阪事業所の玄関かつ、食堂と売店エリアを併設したレイアウトに整え、コミュニケーションを生む食事空間を提供します。喫食時間以外はワーキングスペースとして利用できるよう、Web 会議ブースやポータブルバッテリー等を備えています。

・ 2 階：心身の健康や業務特性に沿った快適な空間

主にオフィスエリアとしてレイアウトし、机や椅子の高さの調整を可能にすることで、長時間座っていても疲れにくい環境を整えます。また通路幅を十分に確保することで、安全かつ快適に働くことができる空間を確保します。

・ 3 階：多様な働き方やリチャージ可能な空間

Web および対面でのミーティングが可能な会議室・ブース席を設置します。また、フリーアドレス制のワークスペースやリチャージ（休憩）スペースも設置し、自由に気兼ねなく業務できる職場環境と心身ともにリラックス可能な空間を提供します。

< 松阪事業所新事務棟の概要 >

所在地：	松阪事業所（三重県松阪市鎌田町 1001 番地）内
事業内容：	自動車用ホースの製造
竣工時期：	2026 年 2 月予定
稼働開始：	2026 年 4 月予定
従業員数：	673 名（2024 年度実績）
面積：	建築面積：約 931 m ² 延床面積：約 2,341 m ² 松阪事業所の総面積：約 75,000 m ²
投資額：	約 11 億円



松阪事業所 俯瞰図

当社グループは、2029Vにおいて、2029年のありたい姿を「理工のチカラを起点に、社会課題の解決に向けてソリューションを提供し続ける、リーディングカンパニー」と設定しました。ありたい姿の実現に向けた方向性の1つとして、「未来を開拓する人・仲間づくり」を掲げています。今後も、技術の進化・融合を推進し、社会課題の解決に貢献し続けるとともに、従業員の個々の成長を促す、育成機会の提供と働きがい溢れる企業風土の醸成のため、働きやすい職場づくりに努めてまいります。

以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の製造音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>